

学力向上に向けた取組

函館市立本通中学校

1 課題

○校内研修の充実

2 課題解決の具体策

- ①全員による授業研究
- ②ブロック別公開授業研究
- ③ワークショップ形式の全員参加型の全体研修会

3 取組の概要

①について

研究主題「思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導を目指して」
～豊かな言語活動を取り入れた授業実践のあり方～

の主旨に基づいて、5月に個人研修テーマを設定して、2学期末まで研修を推進する。3学期に入ったら個人の研修をまとめ、全員に環流する。



②について

全教科・特別支援を文類・理類・芸体支援類の3つのブロックに分け、各ブロックから1本ずつ、計3本の公開授業研究を実施。今年度は、新学習指導要領の完全実施にむけて改訂の目玉である「豊かな言語活動を取り入れた授業実践のあり方」に着目し、生徒の課題を解決するツールとしての「言語」を意識した教科の取組を目指してきた。



③について

年3回行われる全体研修会をワークショップ形式にし、事前研究の結果を持ち寄って討議を重ねたり、3つのブロックごとにグループになり、グループ内でポストイットを使って、意見を出し合い、それをまとめ、代表が発表するというスタイルをとっている。

4 成果と課題

- 年間に3回ある全体研修の場や個人研修の交流を有効活用し、教員の資質向上と相互理解を深めることができた。
- 全体研修会では、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学び合ったり創り出したりする学びと創造のスタイルができつつある。(授業に関する参加型の学び合いの場として)
- 個人→ブロック・教科部会・研究推進委員会→全体研修会と個人から始まる研究組織の確立において、それぞれの繋ぎ(関連性)がうまく図られない。